

推進キャンペーンの「みんなのイネ！集めよう」（頁1・2）の資料は、3月21日（木）の『たかなべお知らせ』と併せて全戸に配布、また、5月9日に高鍋町内での新聞の折り込みにして約5200部を配布しました。

結果報告

男女共同参画社会 推進キャンペーン

みんなの♥イネ！♥集めよう



☆男女共同参画とこれからのまちづくり☆



男女共同参画社会とは、性別にかかわらず一人ひとりが尊重され、あらゆる分野に参画し、個性や能力を発揮できる社会のことです。令和2年には経済社会の持続的発展を確保するために、男女共同参画に強力に取り組むことが必要であると閣議決定されています。

高鍋町では、男女共同参画を推進することで、家庭や職場、自治公民館、各種団体、議会等に、みんなが性別にかかわらず参画することで、意見やアイデアがたくさん出てくる「まち」、そして、みんな平等にチャンスがあって何にでもチャレンジしていける「まち」を目指し、すでに動き出しています！

（詳しくは裏面QRコードを読み込むか、高鍋町役場にお問い合わせください。）

☆皆さんからの「イネ！」をお届けください☆

皆さんの「男女共同参画を推進していきたい」という思いを「イネ！」にかえてお届けください。

その数により、男女共同参画の意識の高まりを示したいと考えています。

<「イネ！」届け出先> 締切日：令和6年6月15日（土）

○[グーグルフォーム](#)（右のQRコードを読み込み、入力後送信してください）

○FAX 0983-23-6303（下記を記入の上、送信してください）

○高鍋町役場1階 届出BOX



※総数は高鍋町ホームページで公開させていただきます。

記載情報は、数を公表する目的以外では一切使用いたしませんので、ぜひお気軽にお届けください。



お住まい		年齢					
町内	町外	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代以上

※○印をお願いします

企画：「ジェンダー平等が社会を救う講演会 in たかなべ」実行委員会
問い合わせ：高鍋町総務課 ☎0983(26)2001

考えてみらんね？

未来への不安

- ①日本は約 20 年間、経済は成長していません。
- ②日本の相対的貧困率は 15.4%(6 人に 1 人が貧困)となっています。
- ③宮崎県では 26 市町村のうち 15 が消滅可能性都市、高鍋町は 16 番目の予測です。
消滅可能性都市は若年女性(20~39 歳)が 2010→2040 年を対比、50% 以上の減少の場合の指標です。
- ④日本の男女格差は 146 か国中 125 番目!!
高鍋町の町議会の女性の割合は 14.3%(2 名 / 14 名)で、
公民館長は 2.3%(2 名 / 84 名)となっており、女性の参画が少ないために
女性ならではの視点や意見が少なくなっています。



「男女共同参画」は安定への鍵!

ひとりひとりのしあわせ



持続可能な社会



- QR コードを読み込むと、高鍋町ホームページ内の男女共同参画のページに移動できます。
「男女共同参画関係資料」の項目に「ジェンダー平等が社会を救う」の資料やその要約版、
提案:「男女共同参画」の高鍋づくりに取り組みませんか、講演会案内:高鍋の未来考えて
みませんか、講演会のプログラム冊子などを掲載しておりますので、ご覧ください。
- 上記資料一式は、高鍋町役場1階の届出BOX設置場所でもご覧いただけます。

◇一人ひとりの幸せと持続可能な社会をめざすには「男女共同参画」に取り組むことが重要!
(第5次男女共同参画社会基本計画)

□ 男女共同参画社会 推進”イイネ届け” 結果報告



□ 『男女共同参画を推進したい』という『イイネ総数』は町内で2,179人、町外で216人でした。



- 「2,179人」は、有権者16,424人(2022年11月) に対して13.2%です。これは町民100人に対して、イイネ登録者が13人と言うことです。
- 実行委員会では、はじめての取り組み内容で、期間限定のことも含め、この登録総数「2,179人」を実施・結果として、評価しています。
- 今後、「男女共同参画を推進したい町民」が増えていくことが高鍋の「まち力」を高め、持続可能なまちづくりにつながると考えています。